

2013年5月21日

京都府議会議長、各議員団 様

日本共産党京都府議会議員団  
団 長 前窪 義由紀

## 議会の民主的構成についての申し入れ

本日、5月臨時議会が開会しました。本議会は、京丹後市経ヶ岬での米軍Xバンドレーダー基地計画への不安とアベノミクスによる物価高の深刻な影響が広がり、日本維新の会共同代表・大阪市長橋下氏の暴言への批判が高まる中開かれ、一年間の議会活動に基づく各議員の論戦をまとめるとともに、正副議長や監査委員、委員会の正副委員長など議会の民主的構成を決定する重要な議会です。

京都府議会基本条例は、「議会は、府民から信託された議員によって構成される府民の代表機関」と定めており、その実現のためには、民意を正しく反映した公正・公平な議会役員を選出と民主的な議会運営は不可欠の課題です。

ところが、京都府議会では、議長、副議長、議会選出監査委員、および常任・特別・予算・決算委員会の正・副委員長が二十年近くにわたり「与党会派」で占められ、第三党の日本共産党が排除されるという不正常的な事態が続いています。こうした状況は、京都市会をはじめ、府内の市町村議会にはまったく例のないことです。

本来、第1会派が議長、第2会派が副議長とし、委員会の正副委員長を会派の議席数に応じて公正に配分するなど、議会構成に民意を反映することは憲政の常道です。歴史と伝統ある京都府議会として、憲政の常道にもとづき、府民に責任を果たすことが求められており、府民的にみて不正常的な事態はすみやかに解決すべきです。

なお、5月臨時会では議長、副議長の選出等にあたり、与党会派内の調整で最終日に徹夜議会になるケースが繰り返されていますが、それは府民の理解が得られるものでなく会期内の選出が行われるよう努めるべきです。

以上の立場から、5月臨時議会の開催にあたり、以下の事項について実現されるよう、申し入れるものです。

### 記

- 1 正・副議長選出に当たっては、府民的に見て、選出される経過や基準を明らかにするため、議席数に応じ、第1会派から議長、第2会派から副議長を選出し、今後ルール化すること。
- 2 議会選出の監査委員については、府政の透明性を高め、府民の信頼にこたえるためにも、日本共産党排除をやめ、民意を反映した選出をすること。
- 3 議会の構成にあたっては、常任・特別委員会の正・副委員長は、各会派の議員数に応じた配分を行うこと。

なお、予算・決算特別委員会の正・副委員長についても、その原則を貫くこと。

以上